



號 一 第

卷四十二第

目 次

日唐通交に於ける國書問題について……………	板澤武雄
不安時代に於ける怨靈の思想……………	肥後和男
條支と大秦と西海……………	宮崎市定
ラティフンディアの成立と經營(上)……………	井上智勇
高句麗の墓制に就いて……………	梅原末治
西川如見と其の地理學……………	内田秀雄
史觀と史體……………	丹羽正義
明治元年堺に於ける佛國水兵殺害事件……………	赤尾藤市
所謂渤海靺鞨に就いて……………	小川裕入

紹介・彙報・會報 (細目裏面)

會 究 研 學 史

内部學文學大國帝都京

紹介

○肥後和男著・古代傳承研究(柴田)○牧野信之助著・土地及聚落史上の諸問題(富谷)○江頭恒治著・高野山領莊園の研究(田井)○山田秋衛著・田中訥言(高島)○木村武夫著・大阪府下に於ける後村上天皇の御聖蹟(稻葉)○許國霖編・敦煌石室寫經顯記・敦煌雜錄(那波)○關野貞著・支那の建築と藝術(水野)○梅原末治著・支那考古學論攷(澄川)○東亞考古學會編・赤峰紅山後(小林)○森本六爾・小林行雄編・彌生式土器集成圖錄(藤岡)○帝室博物館編・天平地寶(角田)○哲學及び宗教と其歴史(前川)○Robert R. Kuczynski, Population Movements (伊藤)○シモン・ロツシング・バツク編・支那の農業(菊田)

桑報

○史學研究會○國史科學生北九州・玄岐・對馬見學旅行記○第三回神道史資料展觀概要○國史研究室探訪の古文書○讀史會○東洋史談話會○東洋史研究會○支那學會大會○東方文化研究所學術公開講演會○西洋史讀書會○地理教室秋期旅行記○地理學談話會○高麗寺址の調査○大津京址の調査○考古學談話會

會報

○臨時評議員會○會則一部變更○新評議員○會員動靜○寄贈交換圖書目錄

前號目次

東本願寺の獨立について……………	辻善之助
シルレルの史學と歴史……………	内山貞三郎
家領の傳領に就いて(下)……………	中村直勝
唐代の社邑に就きて(下)……………	那波利貞
ハリス來朝當時に於ける對外思想……………	赤尾藤市
若狹太良莊に於ける鑄鐘……………	赤松俊秀
增訂清文鑑の異版に就いて……………	今西春秋
紹介・桑報・會報……………	

昭和十三年度會計報告

(自昭和十二年十一月至昭和十三年十月)

總收入

內譯

一、四四六・四七四

前年度繰越金

七七八・九七

印稅

六四〇・〇〇

利子其他雜收入

二七・七七

總支出

內譯

七二七・五〇

大會費

三三〇・八三

例會費

六九・七七

役員手当

一五四・〇〇

執筆者謝禮

一五四・六〇

會務費

二八・三〇

差引殘高 (明年度へ繰越)

七一九・二四

以上

史學研究會規則

- 第一條 本會は史學研究會と稱す
 第二條 本會は同志の士相集まり史學に關する研究をなすを以て目的とす
 第三條 本會の事業概ね左の如し
 一、會合 二、調査 三、會誌等の發行
 第四條 本會に評議員、委員若干名、書記一名を置く
 第五條 評議員は京都帝國大學文學部史學科教官及評議員會に於いて推薦したる者を以て之に充つ
 第六條 評議員委員及書記の任期は二ケ年とす但し再任するこゝとを得
 第七條 評議員は會務を指導し委員は編纂會計庶務を分掌す
 第八條 隔月・回例會を開く會場等は其の都度之を定む
 第九條 毎年十一月に於て總會を開き會務の報告をなす
 第十條 會費は年額金參圓五拾錢とす
 第十一條 入會せんとするものは會員の紹介を以て申込むべし

- 評議員 石橋 五郎 同 (編纂擔任) 小牧 實繁
 羽田 亨 同 宮崎 市定
 原 隨 園 同 新村 出
 西田直二郎 委員 (編纂) 稻葉 慶信
 同 (編纂擔任) 時野谷常三郎 同 (編纂) 外山 軍治
 同 小川 琢治 同 (編纂) 小澤 吉見
 同 那波 利貞 同 (編纂) 角田 文衛
 同 (編纂擔任) 中村 直勝 同 (編纂) 野間 三郎
 同 藤原 末治 同 (庶務會計) 小林 行雄
 同 庶務會計擔任) 梅原 末治 同 (庶務會計) 柴田 實
 同 矢野 仁一 同 (編纂主任) 柴田 實
 同 藤 直幹 同 (イロハ順)

昭和十三年十二月廿五日印刷
 昭和十四年一月一日發行
 【年四回七月發行】

定價	史
一冊	一年分前金
金九拾錢	金參圓五錢
送料六錢	送料無料
△誌代會費は發行所宛に拂込まれたし	

京都帝國大學文學部内
 編輯所 史學研究會
 振替口座大阪壹四五五六

不 許 不
 禁 轉 禁
 製 載

編輯者 柴 田 實
 發行者 須 磨 勘 兵 衛
 印刷者 須 磨 勘 兵 衛
 京都市下京區北小路通新町西入
 京都市下京區西洞院通七條南入
 印刷所 内外出版印刷株式會社

發行所

京都市西洞院通七條南入
 内外出版印刷株式會社

電話 手持帳 四一五〇番
 振替口座大阪 三二九五番

THE SHIRIN

or the
JOURNAL OF HISTORY
(QUARTERLY)

Vol. XXIV. No. 1.

Jan., 1939.

CONTENTS

Articles:

- The Problem of Credentials concerning to the Relation
between Japan and China in T'ang Dynasty. T. Itazawa
- The Idea of the Vindictive Spirit in the Heian Period.
. K. Higo
- T'iao-chih (條支), Ta-ch'in (大秦) and the Western Sea
(西海) J. Miyazaki
- The Growth of Latifundia and the Administration of them
(Part I.) C. Inoue
- On the Structure of Ancient Tombs in Korea.
. S. Umehara
- Nishikawa Joken (西川如見) and his Thought on Geo-
graphy. H. Uchida
- The Philosophie of History and the History of Historio-
graphy. S. Niwa
- The Troubles with the French Sailors shot at Sakai in 1868.
. T. Akao
- On the So-Called "Pohai-Moho" (渤海靺鞨) Y. Ogawa

Reviews and News

PUBLISHED
BY
THE SHIGAKU-KENKYU-KWAI
(THE HISTORICAL SOCIETY)
THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY.
NIPPON.